

事業所名

あやとりハウス下妻

支援プログラム (参考様式)

作成日

2025 年

3 月

20 日

法人 (事業所) 理念		「楽しく」「ゆっくり」「みんなで学ぶ」 子供たちと共にスタッフも一緒に学びよりよい関係を築き、療育を行って行きます。									
支援方針		療育が必要とするお子様に対し、本人支援に何が必要かを、一緒に過ごしながら・保護者様に様子などをお伺いしながら・学校の申し送りを参考にしながら・関係機関と密なる連携を図り本人の意思を尊重した最善の支援を行って行きます。保護者様とも強い信頼関係を築き、ご理解とご協力をお願いし、常に感謝の気持ちを忘れずに、温かい気持ちで楽しくお子様の成長と自立に向けた支援をさせていただきます。									
営業時間		平日 (月～金)	14 時	0 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		土・祝	9 時	0 分	から	16 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 感情を客観ししてコントロールする練習 (“怒りや悲しみ、楽しさ嬉しさといった感情等) 着脱後の支援 (着た後の身だしなみ・ボタンの確認。脱いだ後の衣類・制服をたたむ等) 健康、生活管理 (体温を計る。歯磨き。トイレ。など生活に必要なスキルアップ) 									
	運動・感覚	視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、などの感覚活動や折る、封入、組み立て等の指先トレーニングにより感覚の成長を支援します。体の動きをコントロールすることで気持ちや、テンションのコントロールへの成長も促します。ダンス教室なども含まれます。									
	認知・行動	“苦手なことにも挑戦してみる”等、課題に向かう姿勢を支援します。“頑張ってたかった”“出来て嬉しい”と感じられるような支援や関わり方、その内容を工夫します。1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成、粘土等による物質の変化と感覚の認知形成、小集団での活動において適切な行動形成、認知の偏りの配慮といった支援も行います。									
	言語 コミュニケーション	“報告”“連絡”“相談”“傾聴”等、自分も周りも大切にすることを学びます。言葉だけでなく、ジェスチャーやカード等、個々に合った方法を提案し一緒に考え支援します。社会的には不適切とされる行動も丁寧に観察し、利用者の背景、原因に着目し社会的に適切な行動と一緒に考え工夫し、支援します。									
	人間関係 社会性	子ども会議を行い、共通の目的を課題とし、“友人”“先輩後輩”“協力”“利害”“対立”など、集団で発生する様々な人間関係において、相手も自分も大切に行動を選択できるように、一緒に考えます。また、“挨拶”“ルール”“マナー”“感謝”“謝罪”など社会生活で活躍するスキルが身に付くよう日々の活動から声掛けを行い支援を行います。									
家族支援		本人にとって何が必要か、保護者様と話しあったり書面で問いかけたりし、学校での様子を学校から聞くなどし、トライアングル連携を実施します。アタッチメントの安定。				移行支援		小学部 (校) 高学年では、次の進路先を考え中学部 (校)、中学生には高等部 (校) への準備を支援します。必要な課題があれば、スタッフで周知し課題に解決に努めます。高校2、3年生を対象に自立支援プログラムを提供。			
地域支援・地域連携		必要に応じて相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携を図ります。また地域にある就労支援事業所とも連携を図り、本人、ご家族の将来に対する不安を和らげ必要な情報を提供します。				職員の質の向上		事業所内・事業所外研修を行い、スタッフのスキルアップを目指しています。また、身体拘束・虐待防止委員会を定期的で開催しています。外部研修：サービス管理責任者基礎研修及び児童発達支援管理責任者研修 強度行動障害研修 ビジネスマナー研修 救命救急 等			
主な行事等		施設外活動 調理実習 おやつ作り ダンス教室 事業所内イベント プール 毎月お誕生日会・お楽しみ会 ハロウィンパーティー クリスマス会 初詣 餅つき大会 避難訓練 節分 卒業生を送る会 施設内・施設外お買い物学習 等									